



このたびより、国際情報誌「であい」は「HIECC ブログ であい」に名称変更し、
HIECCの事業レポートや国際交流の情報を発信いたします。

「北海道在住外国人緊急支援プロジェクト」を実施

令和3年9月～令和4年2月

今年度HIECCでは、日本国際交流センター（JCIE）、
特定非営利活動法人ジャンプラットフォーム（JPF）が実施する
休眠預金等交付金を活用した「在留外国人コロナ緊急支援事業」の採択を受け、
「北海道在住外国人緊急支援プロジェクト」を実施しました。

当プロジェクトは、新型コロナウイルス感染拡大により生活面で影響を受けた
北海道在住外国人の支援を目的とし、
道内各地域の関係団体や自治体の皆さまに、多大なご協力をいただきながら、
「食料支援、しごと支援、日本語支援」の各事業を実施しました。

プロジェクトの大きな柱となった「食料支援」は、
令和3年9月から翌2月まで、全道16地域で、22回実施し、
2,650人の外国人の皆さんに食料品や日用品などをお渡しすることができました。

写真は、9月に実施した室蘭工業大学国際交流センターでの配布の様子です。
室蘭工業大学に通学する学生とその家族を対象に
120人分を配布し、その様子は、ニュースでも報道されました。



受け取りを希望する方には、当センターHPや地域の窓口で事前に申込みをしていただき、コロナ禍での実施のため、各地域団体のご協力の下、会場設営から当日の運営まで、随所に細心の注意を払いながら、万全の感染対策で実施しました。



今回の支援物品の内容ですが、米や乾麺などの保存の利く食材と、トイレトペーパーなどの日用品を1人分ずつパック詰めして配りました。支援物品の総重量は、5Kg以上!! その重さに驚く人が多く見られましたが、笑顔で受け取っていました。

外国人の方々のコメントを一部ですが、ご紹介します。

「感染症で帰国できないので、このような支援は本当に助かる」(中国、室蘭市)、
「今はバイトの収入が少ないので助かった。とても感動しました。」(中国、留学生、江別市)、
「北海道に住む外国人にとって大変大きな支援です。」(イギリス、技術・人文知識・国際業務、真狩村)、
「コロナウイルスの影響により多くの人が失業しています。これは非常に意味があるプログラムです。」(ベトナム、石狩、特定技能)

今回の支援によって、すべての外国人の皆さんに支援の手が届いたとは言えませんが、支援を受け取った皆さんに喜んでいただけて、わたしたちも嬉しく思います。

○事業の詳細については、特設HP「北海道在住外国人緊急支援プロジェクト」ページにてご覧ください。

<https://www.hiecc.or.jp/soudan/aid/>



北海道多文化共生アワード 2021 表彰式

令和4年3月25日（金） 北見市

2016年度からHIECCで実施している「北海道多文化共生アワード」。
多文化共生分野でご活躍いただいている北海道内の団体を顕彰しています。

今年は、「北見 YMCA いろはの会」が2021年度の優秀賞を受賞され、
3月25日（金）に北見市内の会場にて表彰式を行い、
会の代表者と関係者の皆さまにご出席いただきました。



「北見 YMCA いろはの会」（以下「いろはの会」）は、2000年の設立以来、
20年以上、これまで350人以上の地域に住む外国人の日本語学習や、
生活の困りごとなどに寄り添った活動を継続してきました。

広い面積を誇る北見市で、日本語学習を希望する外国人の多様なニーズに
応えるため、あえて一箇所に集う日本語教室の開設をせず、
マンツーマンでのきめ細かな個別指導が会の活動の特徴です。

また、丁寧なニーズの聞き取りによる指導する市民ボランティアとのマッチングや、
定期的な指導スキルの向上を目指す研修会の実施などが、今回の顕彰の大きな理由となりました。

このコロナ禍にあって、公共施設が閉鎖され会場の確保や、感染防止対策への配慮など
大変な面もたくさんあったと聞いていますが、活動を休止せずに、「できることを続けた」とのこと。

幹事（代表）伊藤悠紀子さんからは、

「たくさんの方に支えられた20年であることを実感いたしました。

4月の例会で、他の会員と喜びを分かち合いたいと思います。」と感激のコメントがありました。

活動開始時は、留学生が中心だった学習希望者も、年々ニーズが多様化しており、技能実習生や永住者など、北見市の近隣市町村からの希望者も増えてきたとのこと。今後、コロナ禍においてリモートでの指導も新たに検討されるとのことで、個別指導の特徴を存分に活かされ、さらなるご活躍が期待されます。



表彰式当日は、これまでの活動をふりかえり、懐かしそうに笑顔で語る皆さまの姿が印象的でした。

「北見 YMCA いろはの会」の皆さま、おめでとうございます。